

取組の名称		都心30分圏内の里山保全と再生への取組み	
活動主体（団体名）		生活協同組合パルシステム東京	
活動主体（団体名）（フリガナ）		セイカツキョウドウクミアイパルシステムトウキョウ	
取組の内容 （自由記述）	①概要	宅地開発による里山の消失を懸念した地元住民と、組合員向けの自然体験の場所を探していた生協と想いが一致し、里山を購入した。都民が気軽に自然体験できるこの場所では、間伐体験や収穫体験などを通じて人と里山の共生について学ぶ機会を提供し、組合員や職員が里山管理を実践することで森林保全人材の育成にも取り組んでいる。	
	②取組内容を確認できるURL（または資料添付）	https://www.palsystem-tokyo.coop/activity/inagi-meguminosato-yama/	
	③実施時期、頻度	通年	
	④活動場所（所在地）	東京都稲城市百村1298-1	
	⑤活動の規模（参加者数）	2,476人（2024年度実績）	
	⑥活動状況がわかる写真（撮影年月日）（既に実施している場合）※		
	2025年9月6日	2024年6月29日	
対応する社会課題 （該当する項目にチェック／複数選択可）		<input checked="" type="checkbox"/> 子供の福祉（子供の健やかな成長を社会全体でサポート） <input checked="" type="checkbox"/> 都民の健康・長寿（誰もが元気で心豊かに暮らせる地域の実現） <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ形成（誰もが集い、支え合うコミュニティを至るところに形成） <input checked="" type="checkbox"/> 防災・減災／気候変動対策（地球温暖化に伴う豪雨や自然災害等の被害軽減） <input checked="" type="checkbox"/> 地域振興（東京全体の生産性、魅力向上） <input checked="" type="checkbox"/> 観光・文化振興（人々のウェルビーイング、東京のプレゼンス向上） <input type="checkbox"/> 農林水産業の成長（危機に強い産業構造への転換） <input checked="" type="checkbox"/> 緑や水辺を生かした空間の創出／自然地保全・管理（都市機能を高め、世界を魅了）	
活用している生態系の機能 （該当する項目にチェック／複数選択可）		<input type="checkbox"/> 供給サービス（日々の暮らしに必要な資源を供給／食料、繊維、木材、水、薬品など） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（二酸化炭素の吸収） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（都市環境の質の向上／ヒートアイランド現象・暑熱環境の緩和） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（都市環境の質の向上／大気汚染や騒音の低下） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（災害の緩和／台風、洪水、津波、地滑り、雨水浸透、Eco-DRR） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（水質の浄化／窒素やリンの吸収、有機物の取り込み） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（花粉媒介／植物の世代交代、農作物の収穫量の増加） <input checked="" type="checkbox"/> 文化的サービス（精神を豊かにする機能／芸術的・文化的なひらめき、教育的効果、心身のやすらぎ、観光レクリエーションなど） <input checked="" type="checkbox"/> 基盤サービス（生息・生育環境の提供） <input checked="" type="checkbox"/> 基盤サービス（光合成による酸素の生成） <input checked="" type="checkbox"/> 基盤サービス（地力の維持及び栄養循環）	
貢献の内容 （自由記述）	①人間の幸福に対して	子どもからお年寄りまでが生きもの観察や間伐などの体験教育機会を得られ、森林浴によるメンタルヘルス改善や間伐による運動能力向上、フィトンチッドによる健康維持といった健康効果をもたらしている。また多世代が企画に参加することでコミュニティが形成され社会的孤立の解消に寄与し、職員や組合員、近隣住民による森林整備ボランティア人材育成を通じて持続可能な管理体制を構築することで、自然との触れ合いを通じて参加者の心身の健康と社会的つながりの両面から人間の幸福に貢献している。	
	②生物多様性に対して	里山消失を懸念し購入した里山では、竹が生い茂る場所で竹を間引く体験活動を行い、土中に眠る植物の種から自然を復活させようとしている。また、植物や昆虫の生息状況を定期的に調べるため、専門家と一緒に生きた生きもの観察会や、自動撮影カメラを使った継続観測により、タヌキなどの動物や昆虫、絶滅危険がある植物などの記録を継続している。他にも場所ごとに適した活用と管理の方法を決めた計画に基づき、最適な管理方法を作り上げることで、生物多様性の拠点として都市周辺での生き物の住み場所を守り、都市里山の生物多様性保全に貢献していく。	